

国柄探訪

ハイテクを生み出す産靈の力

多くの日本企業がいまだに守り神を祀っている理由は?

1. グローバル・ピッグ ビジネスの守り神

トヨタ自動車は2003年の世界の自動車販売台数で、ついにアメリカのフォード・モーターを抜いて、世界第2位に躍進した。今や、日本経済復活の旗手となつた感があるが、このグローバル・ビジネスに守り神がいるのを存じだろうか。

「トヨタ神社」と呼ばれる愛知県豊田市の豊興神社で、鉄の神様である金山比売、金山比古を祀っている。トヨタ創業の大正14(1925)年に建立された。

毎年、年頭にトヨタ自動車や関連グループの首脳、幹部役員が勢揃いして参列する前で、神主が祝詞を奏上し、参拝者全員がトヨタの繁栄と安全を祈る。この年頭神事は神社建立以来毎年行われている。

日本には、トヨタ同様に守り神を祀る企業が少ない。三菱グループの守り神・土佐稲荷は一般に「三菱稻荷」と呼ばれ、東京三菱銀行・大阪西支店の屋上に社殿が建立されている。三井グループは東京の台東区牛島の隅田川畔に祀られた三井神社。そのほか日立製作所の熊野神社、東芝の出雲神、出光興産の宗像神社、資生堂の成功稲荷、キッコーマンの琴平神社などなど、枚挙にいとまがない。

2. 企業が守り神を持つ意味

これら日本を代表する国際的な大企業が、揃いも揃つて、それぞれの神様を祀っているというのは、どうした訳か? 一社だけならアナクロニズム(時代錯誤)と一笑に付すこともできようが、これわれる神事に立ち会って見ると実感できるだろう。

その理由は、各企業で年頭や創立記念日などに行なわれる神事に立ち会って見ると実感できるだろう。社長以下、幹部が打ち揃い、なかには従業員や家族、取引先や地域の人々も参加して、企業の繁栄を祈る。日頃は利益競争や出世レースにしのぎを削つてい

ハイテクを生み出す産靈の力

多くの日本企業がいまだに守り神を祀っている理由は?

2. ハイテクを生み出す産靈の力

歴史を振り返り、自分たちはリレー走者の一人として、先輩から企業を受け継ぎ、さらに発展させて、トヨタ自動車は2003年の世界の自動車販売台数で、ついにアメリカのフォード・モーターを抜いて、世界第2位に躍進した。今や、日本経済復活の旗手となつた感があるが、このグローバル・ビジネスに守り神がいるのを存じだろうか。

「トヨタ神社」と呼ばれる愛知県豊田市の豊興神社で、鉄の神様である金山比売、金山比古を祀っている。トヨタ創業の大正14(1925)年に建立された。

3. 現代のハイテク 社会を支える「祈り」

4. 産靈の力

5. 「神人共働」

「国際派日本人養成講座」
(http://www2s.biglobe.ne.jp/~nippon/jog/index.htm)では、毎週、新しいコラムが紹介されています。

※これを読めば日本の文化や歴史に关心がもてるよう多くの二世の方や日本語学習者に読んでもらえるよう、より興味を持つ日本系団体の掲示板に張ったり、普段は邦字紙を読んでいない兄弟や子や孫などに記事を紹介してください。(ニッケイ新聞編集部)

もよいであろう。すべてのものは「結び」から生まれ出される、という自然観。社会観は、現代科学にも通する合理的な考え方である。

冒頭でトヨタの守り神の話をしたが、自動車もまた「結び」の産物である。土の中に眠っていた鉄鉱石が精錬され、鋼板となり、それが成形されて車体となる。その車体に、ゴムのタイヤや、ガラスの窓、プラスチックの内装品、織物のシートなど、多様な材料からなる部品が数万点も組み付けられて、自動車が誕生していくプロセスは、まさに「結び」の力そのものである。

このようにモノを生み成し、造り出す「結び」の力での信仰は、モノづくりを尊ぶ姿勢につながる。トヨタの守り神は、宇宙を作り出す「むすび」機まで行なわれているのである。

トヨタの守り神は、宇宙を作り出す「むすび」機まで行なわれているのである。

トヨタの守り神は、宇宙を作り出す「

真相究明委員会が調査に

戦中戦後の日本移民迫害

州議ら「闇の一日」鑑賞

ジウマ大統領の肝心で2012年に設立された、軍事独裁政権時代の人権侵害を調査する真相究明委員会の聖州小委員会(アドリアノ・ジョアオ委員長)による旧最後の会合が12月18日(奥原マリオ監督)を鑑賞した。同委員会ではさっそく公式案件として扱うことを決め、調査に向けて動き出す模様だ。

「究明すべき歴史だ」



委員会の州や補佐官、右端が奥原監督

映画『闇の一日』完成版は昨年11月21日に沖縄県人会で初上演され、以来、インターネット上(http://www.youtube.com/watch?v=QDfegBqMK4)で無料公開されている。11日現在アーカイブ版は約3千を数える。激動する多くのコメントが書き込まれている。

ジョアオ委員長は「長い間閉じられていた扉が、この委員会によってようやく開かれた。本当に驚いた」と語り、同監督の話をブラジル国民から

感想が日々に聞かれた。

「一般には

全然知られていない、究明すべき歴史だ」という

見終わったあと、議員

10人が鑑賞した。途

州議が参加し、当

議本および補佐官ら約

5人が鑑賞した。途

中、涙を流す人もいた。途

あつたなど、まったく知

らなかつた、「一般には

全然知られていない、究

明すべき歴史だ」という

感想が日々に聞かれた。

「一般には

全然知られていない、究

明すべき歴史だ」という

震災後、相次ぐ移民

地震や原発事故懸念 南米などで第二の人生



パラグアイの首都アスンシオン

【共同】東日本大震災後、さらなる地震や原子力発電所事故などを恐れて海外へ移住、長期滞在する人が増えている。外務省によると、海外永住者は2010年10月から大震災後の11年10月までに約1万5千人増加。長期滞在者は約2万4千人増えた。移住サポート会社には問い合わせが2~3割増えている。移住先は欧米やオセアニア、アジアのほか、日本人が多く地震が少ないことを理由に、南米で第二の人生を歩み始める人たちもいる。

▽心が痛い
——「被災地から出るに出られない人たちを思うと

——「心が痛い」。平田真実さん(51)は東京電力福島第1原発事故後、埼玉県川口市から南米パラグアイの首都アスンシオンに移住した。国が発表する放射線量が信用できず

小学生の次男に弁当と水筒を持たせて通学させ

高い先進国を避け、イン

ターネットで各国のさま

ざまな条件を調べ、気に入ったパラグアイを1月

に訪問、永住権を申請し

た。3月に87歳の母、妻、長男、次男の計4人

が、6月に自分自身も完全に移住した。

平田さんは同時期に東京から移住した整体師も始めた技術を学び、料理店も始

——「心が痛い」。平田真実さん(51)は東京電力福島第1原発事故後、埼玉県川口市から南米パラグアイの首都アスンシオンに移住した。国が発表する放射線量が信用できず

小学生の次男に弁当と水筒を持たせて通学させ

高い先進国を避け、イン

ターネットで各国のさま

ざまな条件を調べ、気に入ったパラグアイを1月

に訪問、永住権を申請し

た。3月に87歳の母、妻、長男、次男の計4人

が、6月に自分自身も完全に移住した。

平田さんは同時期に東京から移住した整体師も始めた技術を学び、料理店も始

——「心が痛い」。平田真実さん(51)は東京電力福島第1原発事故後、埼玉県川口市から南米パラグアイの首都アスンシオンに移住した。国が発表する放射線量が信用できず

小学生の次男に弁当と水筒を持たせて通学させ

高い先進国を避け、イン

ターネットで各国のさま

ざまな条件を調べ、気に入ったパラグアイを1月

に訪問、永住権を申請し

た。3月に87歳の母、妻、長男、次男の計4人

が、6月に自分自身も完全に移住した。

平田さんは同時期に東京から移住した整体師も始めた技術を学び、料理店も始

——「心が痛い」。平田真実さん(51)は東京電力福島第1原発事故後、埼玉県川口市から南米パラグアイの首都アスンシオンに移住した。国が発表する放射線量が信用できず

小学生の次男に弁当と水筒を持たせて通学させ

高い先進国を避け、イン

ターネットで各国のさま

ざまな条件を調べ、気に入ったパラグアイを1月

に訪問、永住権を申請し

た。3月に87歳の母、妻、長男、次男の計4人

が、6月に自分自身も完全に移住した。

平田さんは同時期に東京から移住した整体師も始めた技術を学び、料理店も始

——「心が痛い」。平田真実さん(51)は東京電力福島第1原発事故後、埼玉県川口市から南米パラグアイの首都アスンシオンに移住した。国が発表する放射線量が信用できず

小学生の次男に弁当と水筒を持たせて通学させ

高い先進国を避け、イン

ターネットで各国のさま

ざまな条件を調べ、気に入ったパラグアイを1月

に訪問、永住権を申請し

た。3月に87歳の母、妻、長男、次男の計4人

が、6月に自分自身も完全に移住した。

平田さんは同時期に東京から移住した整体師も始めた技術を学び、料理店も始

——「心が痛い」。平田真実さん(51)は東京電力福島第1原発事故後、埼玉県川口市から南米パラグアイの首都アスンシオンに移住した。国が発表する放射線量が信用できず

小学生の次男に弁当と水筒を持たせて通学させ

高い先進国を避け、イン

ターネットで各国のさま

ざまな条件を調べ、気に入ったパラグアイを1月

に訪問、永住権を申請し

た。3月に87歳の母、妻、長男、次男の計4人

が、6月に自分自身も完全に移住した。

平田さんは同時期に東京から移住した整体師も始めた技術を学び、料理店も始

——「心が痛い」。平田真実さん(51)は東京電力福島第1原発事故後、埼玉県川口市から南米パラグアイの首都アスンシオンに移住した。国が発表する放射線量が信用できず

小学生の次男に弁当と水筒を持たせて通学させ

高い先進国を避け、イン

ターネットで各国のさま

ざまな条件を調べ、気に入ったパラグアイを1月

に訪問、永住権を申請し

た。3月に87歳の母、妻、長男、次男の計4人

が、6月に自分自身も完全に移住した。

平田さんは同時期に東京から移住した整体師も始めた技術を学び、料理店も始

——「心が痛い」。平田真実さん(51)は東京電力福島第1原発事故後、埼玉県川口市から南米パラグアイの首都アスンシオンに移住した。国が発表する放射線量が信用できず

小学生の次男に弁当と水筒を持たせて通学させ

高い先進国を避け、イン

ターネットで各国のさま

ざまな条件を調べ、気に入ったパラグアイを1月

に訪問、永住権を申請し

た。3月に87歳の母、妻、長男、次男の計4人

が、6月に自分自身も完全に移住した。

平田さんは同時期に東京から移住した整体師も始めた技術を学び、料理店も始

——「心が痛い」。平田真実さん(51)は東京電力福島第1原発事故後、埼玉県川口市から南米パラグアイの首都アスンシオンに移住した。国が発表する放射線量が信用できず

小学生の次男に弁当と水筒を持たせて通学させ

高い先進国を避け、イン

ターネットで各国のさま

ざまな条件を調べ、気に入ったパラグアイを1月

に訪問、永住権を申請し

た。3月に87歳の母、妻、長男、次男の計4人

が、6月に自分自身も完全に移住した。

平田さんは同時期に東京から移住した整体師も始めた技術を学び、料理店も始

——「心が痛い」。平田真実さん(51)は東京電力福島第1原発事故後、埼玉県川口市から南米パラグアイの首都アスンシオンに移住した。国が発表する放射線量が信用できず

小学生の次男に弁当と水筒を持たせて通学させ

高い先進国を避け、イン

ターネットで各国のさま

ざまな条件を調べ、気に入ったパラグアイを1月

に訪問、永住権を申請し

た。3月に87歳の母、妻、長男、次男の計4人

が、6月に自分自身も完全に移住した。

平田さんは同時期に東京から移住した整体師も始めた技術を学び、料理店も始

——「心が痛い」。平田真実さん(51)は東京電力福島第1原発事故後、埼玉県川口市から南米パラグアイの首都アスンシオンに移住した。国が発表する放射線量が信用できず

小学生の次男に弁当と水筒を持たせて通学させ

高い先進国を避け、イン

ターネットで各国のさま

ざまな条件を調べ、気に入ったパラグアイを1月

に訪問、永住権を申請し

た。3月に87歳の母、妻、長男、次男の計4人

が、6月に自分自身も完全に移住した。

平田さんは同時期に東京から移住した整体師も始めた技術を学び、料理店も始

——「心が痛い」。平田真実さん(51)は東京電力福島第1原発事故後、埼玉県川口市から南米パラグアイの首都アスンシオンに移住した。国が発表する放射線量が信用できず

小学生の次男に弁当と水筒を持たせて通学させ

高い先進国を避け、イン

ターネットで各国のさま

ざまな条件を調べ、気に入ったパラグアイを1月

に訪問、永住権を申請し

た。3月に87歳の母、妻、長男、次男の計4人

が、6月に自分自身も完全に移住した。

平田さんは同時期に東京から移住した整体師も始めた技術を学び、料理店も始

——「心が痛い」。平田真実さん(51)は東京電力福島第1原発事故後、埼玉県川口市から南米パラグアイの首都アスンシオンに移住した。国が発表する放射線量が信用できず</

マナウス・カントリークラブ（ヴラジミール・ミツオ・タケダ）は12月16日に月例コンペ（電気関連会社の駐在員を中心開催されていの。現在は30haの敷地にゴルフ場とレーンゴルフ場を有する）を開催した。同クラブは24年前、川田敏之、木庭貢さんが寄付した15haの土地を利用し、渋谷学さんが中心となり設立したも競技に汗を流した。大会結果は次の通り

順位	名前	スコア
1	○	72
2	△	73
3	△	74
4	○	75
5	○	76
6	△	77
7	○	78
8	△	79
9	○	80
10	△	81
11	○	82
12	△	83
13	○	84
14	△	85
15	○	86
16	△	87
17	○	88
18	△	89
19	○	90
20	△	91
21	○	92
22	△	93
23	○	94
24	△	95
25	○	96
26	△	97
27	○	98
28	△	99
29	○	100
30	△	101

マナウス・カントリークラブ 月例コンペで和氣藹々



電気コンペの成績優秀者



月例コンペの成績優秀者

「アマゾンにやつてきた日本人たち」をテーマに講演している。今回も各地の日本人入植の歴史や入植地の特色、アマゾンの動植物の生態を子どもたちに話して聞かせた。

また記念行事とし、3周年記念誌のほか企業向けPRも兼ねた学校紹介DVDが制作され、PTA会員にはクリアファイルが配布された。

川田さんの記念講演も

を代表して挨拶した。中川さんは「文化コースの皆との関わりは、他では体験できない」と語り、「日本語や日本文化の大切さを実感した」という帰伯子女の野沢さんも同校の良さを強調した。

はじめに国歌、校歌を全員で齊唱し、続いて紙屋校長が「規模は小さいが、国際交流や日本のよさを知る機会を提供できる学校に成長した」と同校の歩みを振り返った。

学校運営支援を目的に企業家が設立したマナウス日本文化振興会の岩本博之会長も、「生徒たちが安心して学校生活を送り、学校運営が滞りなく進むよう、今後も最大限の努力をしたい」と引き続きの支援表明。長沼総領事、錦戸会長、牛田会長、長沼部6年の中川真央さん、吉田茂PTA副会頭や吉田茂PTA文化コース中学部2年の野沢ビアンカさんは生徒を代表して挨拶した。

学校の概要

日本の文部科学省指定の教育施設。文化コースは1993年、生徒数確保のためもあって、現地日系家族の要望に応じて開設されたもの。日本語と日本文化のほか、図工・音楽・体育を指導する。この3教科と学校行事においては文化、全日両コースの生徒が共に活動する。在校生27人も含めると、同校で学んだ生徒は延べ358人に上る。

学校の概要

日本の文部科学省指定の教育施設。文化コースは1993年、生徒数確保のためもあって、現地日系家族の要望に応じて開設されたもの。日本語と日本文化のほか、図工・音楽・体育を指導する。この3教科と学校行事においては文化、全日両コースの生徒が共に活動する。在校生27人も含めると、同校で学んだ生徒は延べ358人に上る。

SB COMÉRCIO LTDA.

會長 武田興洋
社長 武田和洋

謹賀新年

本年もどうぞ宜しくお願ひ申し上げます

Av. Djalma Batista, 4300 - Flores
CEP 69050-010 - Manaus - AM
Tel: (92) 2123-3535 / 2123-3536

SBLG



Angelica
DROGARIAS



FarmaBem
Muito mais por você.

The logo for Emporium Roma features the word "EMPORIUM" in a red serif font above the word "ROMA" in a large, bold, green sans-serif font. The letters are set against a background of two gold-colored, ribbon-like heart shapes that wrap around the text.

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます

Restaurante SUISEI

謹賀新年

在北伯群馬県人会
アマゾン群馬の森
明けまして おめでとうございます
皆様のご健康とご多幸を
心よりお祈り致します

Rua Coronel Leal, 1097 - Centro

Cooperativa Agrícola Mista de Tomé-Açu
Av. Dionísio Bentes, 210 - Quatro Bocas - Tomé-Açu - Pará - Tel: (91) 3734-1084



慰靈碑前で、右から川田敏之・アマゾナス日系商工会議所元顧問、ペラビスタ自治会の橋本博美会長、会員の宍戸宏光さん、野地忠雄副会長

ペラビスタ移住地 60周年

アマゾナス州に現存する最古の日本人移住地、ペラビスタ移住地が今年で入植60周年を迎える。

マナウス市の対岸に位置する同移住地は、1953年の23家族の入植に始まり、計125家族742人が入植した。入植月の9月中旬に記念式典を予定しているほか、記念碑の建立も検討中。ペラビスタ自治会毎年恒例の運動会や盆踊りも、記念行事の一環として実施するという。



教師らによる手作りカレーと一緒に食事を楽しむ。錦戸校長は「日本語を学ぶことで、文化を理解し、日本の文化に触れてみたい」と語った。

先生の質を高めることで、日本語教育にかける思いを語った。

取り組んでいきたい」と

日本語教育にかける思い

を語った。

錦戸校長は「日本語を

役立てたい」というより

日本文化に触れていた

から古典型まで、色々な形で興味を持つとい

る」と現状を説明し、「生徒の質を高めるには

先生の質を高めることが

必要。これからもJICA

Aシニアボランティアと

共に、質的側面の向上に

力を入れて、生徒の質を高めること

を語った。

錦戸校長は「日本語を

役立てたい」というより

日本文化に触れていた

から古典型まで、色々な形で興味を持つとい

る」と現状を説明し、「生徒の質を高めるには

先生の質を高めることが

必要。これからもJICA

Aシニアボランティアと

共に、質的側面の向上に

力を入れて、生徒の質を高めること

を語った。

錦戸校長は「日本語を

役立てたい」というより

日本文化に触れていた

から古典型まで、色々な形で興味を持つとい

る」と現状を説明し、「生徒の質を高めるには

先生の質を高めることが

必要。これからもJICA

Aシニアボランティアと

共に、質的側面の向上に

力を入れて、生徒の質を高めること

を語った。

錦戸校長は「日本語を

役立てたい」というより

日本文化に触れていた

から古典型まで、色々な形で興味を持つとい

る」と現状を説明し、「生徒の質を高めるには

先生の質を高めることが

必要。これからもJICA

Aシニアボランティアと

共に、質的側面の向上に

力を入れて、生徒の質を高めること

を語った。

錦戸校長は「日本語を

役立てたい」というより

日本文化に触れていた

から古典型まで、色々な形で興味を持つとい

る」と現状を説明し、「生徒の質を高めるには

先生の質を高めることが

必要。これからもJICA

Aシニアボランティアと

共に、質的側面の向上に

力を入れて、生徒の質を高めること

を語った。

錦戸校長は「日本語を

役立てたい」というより

日本文化に触れていた

から古典型まで、色々な形で興味を持つとい

る」と現状を説明し、「生徒の質を高めるには

先生の質を高めることが

必要。これからもJICA

Aシニアボランティアと

共に、質的側面の向上に

力を入れて、生徒の質を高めること

を語った。

錦戸校長は「日本語を

役立てたい」というより

日本文化に触れていた

から古典型まで、色々な形で興味を持つとい

る」と現状を説明し、「生徒の質を高めるには

先生の質を高めることが

必要。これからもJICA

Aシニアボランティアと

共に、質的側面の向上に

力を入れて、生徒の質を高めること

を語った。

錦戸校長は「日本語を

役立てたい」というより

日本文化に触れていた

から古典型まで、色々な形で興味を持つとい

る」と現状を説明し、「生徒の質を高めるには

先生の質を高めることが

必要。これからもJICA

Aシニアボランティアと

共に、質的側面の向上に

力を入れて、生徒の質を高めること

を語った。

錦戸校長は「日本語を

役立てたい」というより

日本文化に触れていた

から古典型まで、色々な形で興味を持つとい

る」と現状を説明し、「生徒の質を高めるには

先生の質を高めることが

必要。これからもJICA

Aシニアボランティアと

共に、質的側面の向上に

力を入れて、生徒の質を高めること

を語った。

錦戸校長は「日本語を

役立てたい」というより

日本文化に触れていた

から古典型まで、色々な形で興味を持つとい

る」と現状を説明し、「生徒の質を高めるには

先生の質を高めることが

必要。これからもJICA

Aシニアボランティアと

共に、質的側面の向上に

力を入れて、生徒の質を高めること

を語った。

錦戸校長は「日本語を

役立てたい」というより

日本文化に触れていた

から古典型まで、色々な形で興味を持つとい

る」と現状を説明し、「生徒の質を高めるには

先生の質を高めることが

必要。これからもJICA

Aシニアボランティアと

共に、質的側面の向上に

力を入れて、生徒の質を高めること

を語った。

錦戸校長は「日本語を

役立てたい」というより

日本文化に触れていた

から古典型まで、色々な形で興味を持つとい

る」と現状を説明し、「生徒の質を高めるには

先生の質を高めることが

必要。これからもJICA

Aシニアボランティアと

共に、質的側面の向上に

力を入れて、生徒の質を高めること

を語った。

錦戸校長は「日本語を

役立てたい」というより

日本文化に触れていた

から古典型まで、色々な形で興味を持つとい

る」と現状を説明し、「生徒の質を高めるには

先生の質を高めることが

必要。これからもJICA

Aシニアボランティアと

共に、質的側面の向上に

力を入れて、生徒の質を高めること

を語った。

錦戸校長は「日本語を

役立てたい」というより

日本文化に触れていた

から古典型まで、色々な形で興味を持つとい

る」と現状を説明し、「生徒の質を高めるには

先生の質を高めることが

必要。これからもJICA

Aシニアボランティアと

共に、質的側面の向上に

力を入れて、生徒の質を高めること

を語った。

錦戸校長は「日本語を

役立てたい」というより

日本文化に触れていた

